

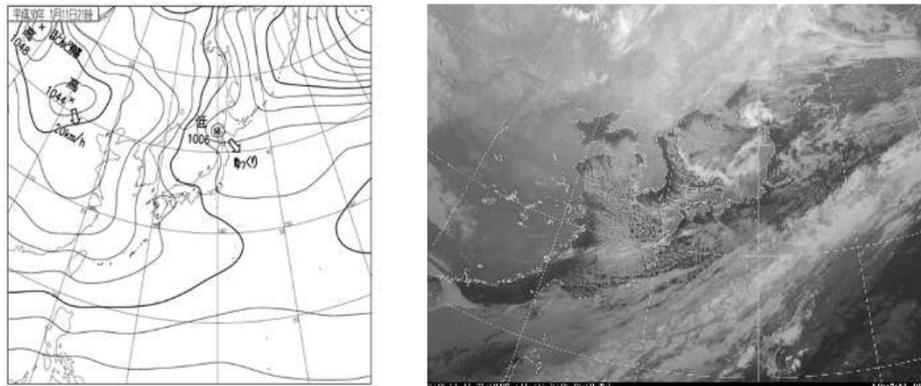
# 1月の大雪における対応について

---

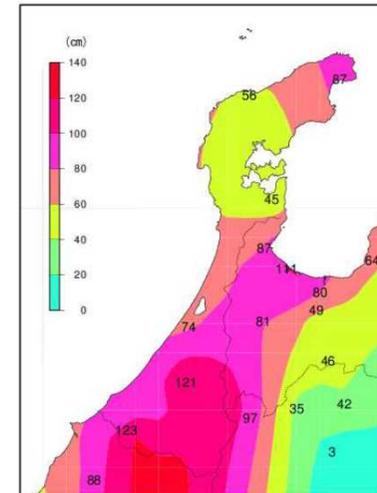
# 1. 北陸道(気象状況)

- 平成30年1月10日から13日にかけて北陸地方の上空には強い寒気が入り、冬型の気圧配置が強まった。
- このため、北陸地方では大雪となり、鉄道の運休・遅延、高速道路などの通行止めが各地で発生し、交通機関やライフラインに大きな影響が出た。
- 10日0時から13日24時までの降雪量合計は、金沢で74cmを観測した。

○地上天気図・気象衛星赤外画像(1月11日21時)



○降雪量分布図  
(平成30年1月10日~13日)

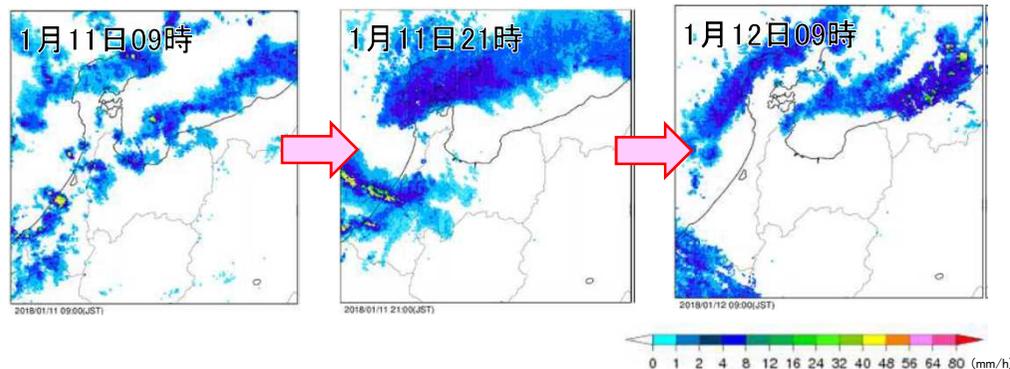


※地域気象観測(アメダス)及び石川県の観測データを利用。

○北陸道 滞留車両発生区間



○レーダー画像(石川・富山県域拡大図)



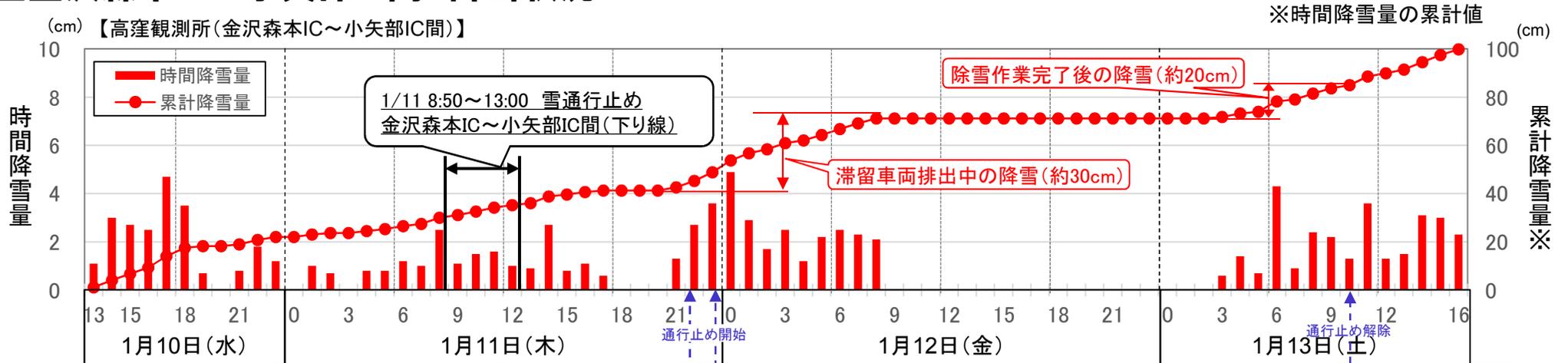
○車両滞留状況(1月12日)



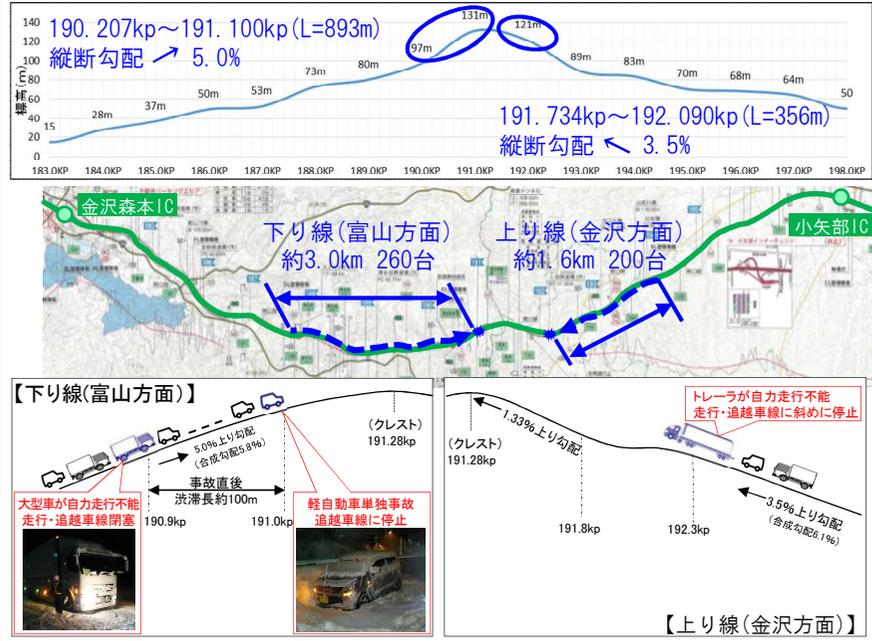
出典: 平成30年1月10日から14日にかけての大雪に関する富山県気象速報、富山地方气象台、平成30年1月16日  
平成30年1月10日から13日にかけての大雪に関する石川県気象速報(警報発表事例の解説)、金沢地方气象台、平成30年1月16日

# 1. 北陸道(降雪・通行止め状況)

## ■金沢森本IC～小矢部IC間 降雪状況



### ○滞留車両発生の詳細



# 1. 北陸道(道路状況写真)

【凍結防止剤散布・除雪】



【滞留車排除・集中除雪】



通行止め

復旧

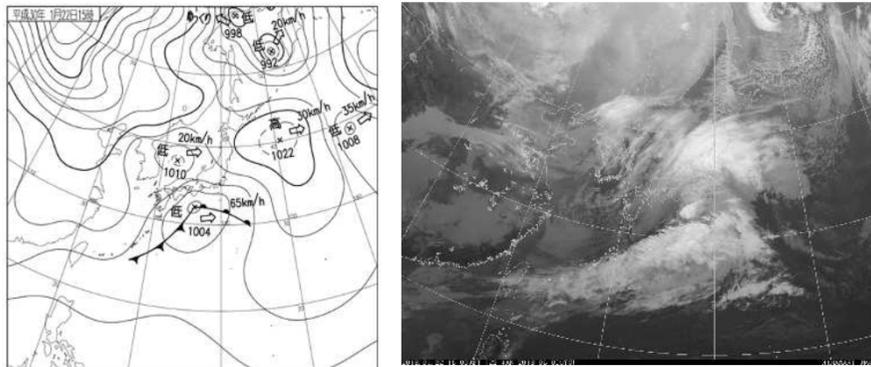
【通行再開】



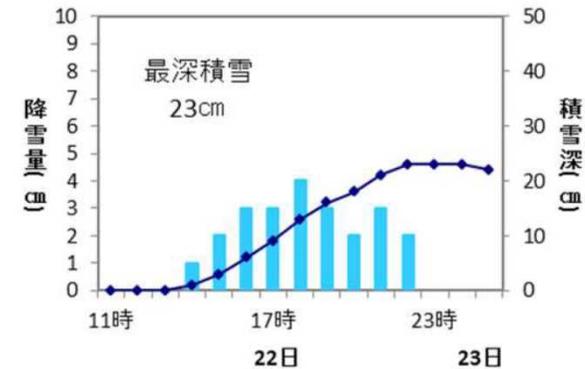
## 2. 首都高速(気象状況)

- 平成30年1月22日から23日にかけて、低気圧が本州の南海上を急速に発達しながら東北東に進んだため、首都圏を中心に広い範囲で大雪となった。
- この大雪により、首都圏では、鉄道の運休・遅延、航空機や船舶の欠航、高速道路の通行止めなどの交通障害や、積雪による転倒などの人的被害が発生した。
- 22日10時から23日1時までの期間、東京都心の積雪量は最大で23cmを観測した。

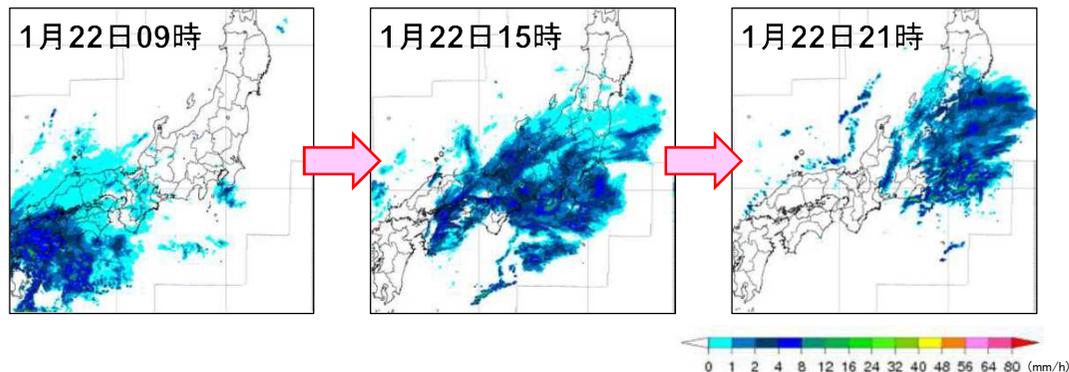
○地上天気図・気象衛星赤外画像(1月22日15時)



○降雪量の推移(東京都千代田区)



○レーダー画像



出典:平成30年1月22日の大雪に関する東京都気象速報、東京管区気象台、平成30年1月24日



首都高速横浜北線(1/22 昼頃)



首都高3号渋谷線(1/22 20時頃)

## 2. 首都高速(降雪状況)

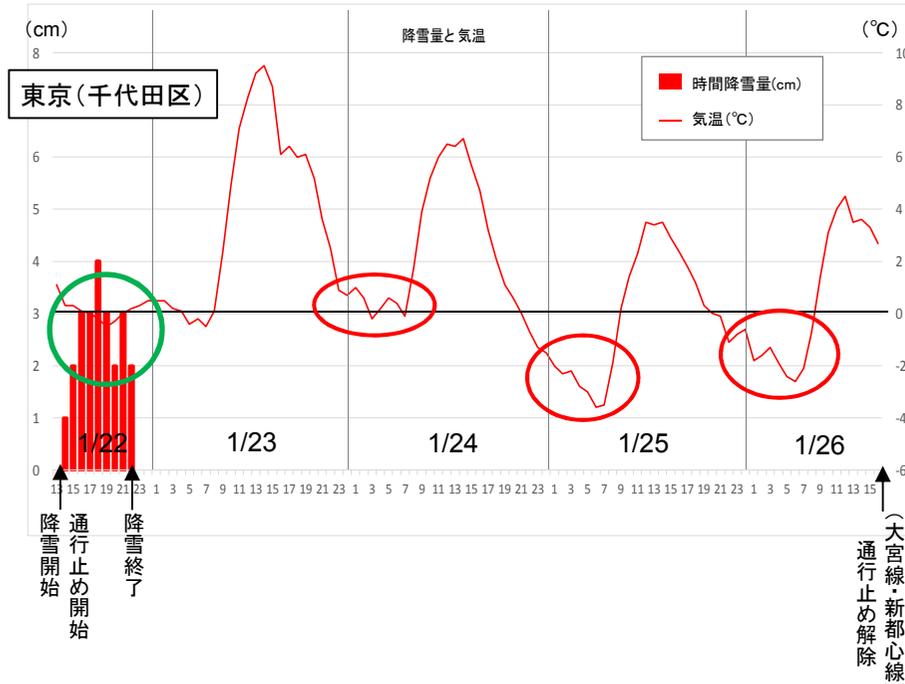
### ○4年前の降雪時との比較

今回

【通行止め延長】 約230km(総延長320kmの内、約7割)  
 【通行止め期間】 最大約99時間(1/22 14:06~1/26 17:30)  
 【除排雪体制※】 37班 + 東日本高速+中日本高速+関東地整

※除排雪班体制: グレーダ1台、ショベルローダ1台、ダンプ5台、作業員10人

【平成30年1月22日(月)~26日(金)】

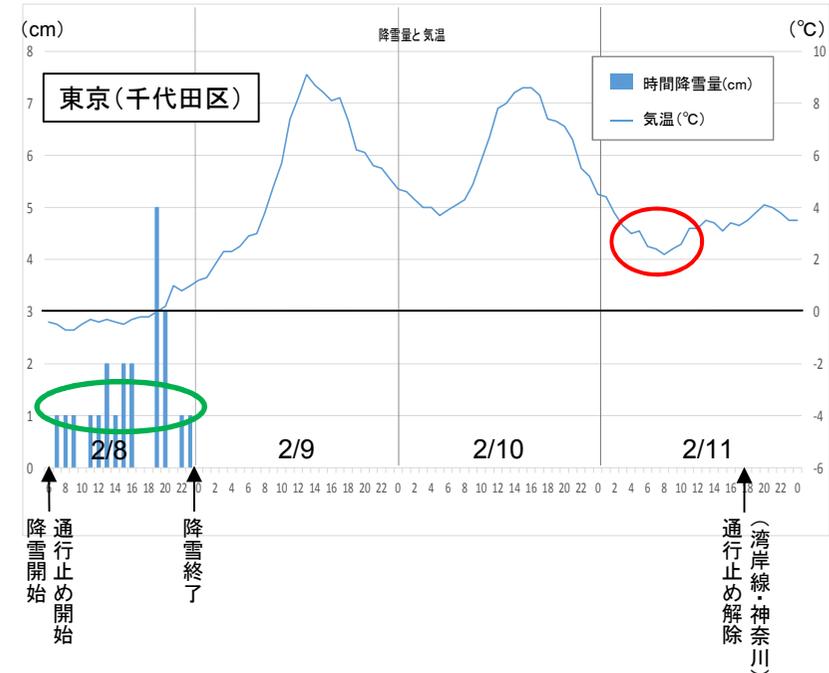


【最大積雪量】 23cm  
 【降雪時間】 1/22 14時~1/22 22時 (9時間) } 2.7cm / 時間  
 【最大時間降雪量】 4cm(1/22 18:00)  
 【降雪範囲】 首都高全域

4年前

【通行止め延長】 約80km(総延長300kmの内、約3割)  
 【通行止め期間】 最大約83時間(2/8 06:15~2/11 17:30)  
 【除排雪体制※】 36班

【平成26年2月8日(土)~11日(火)】

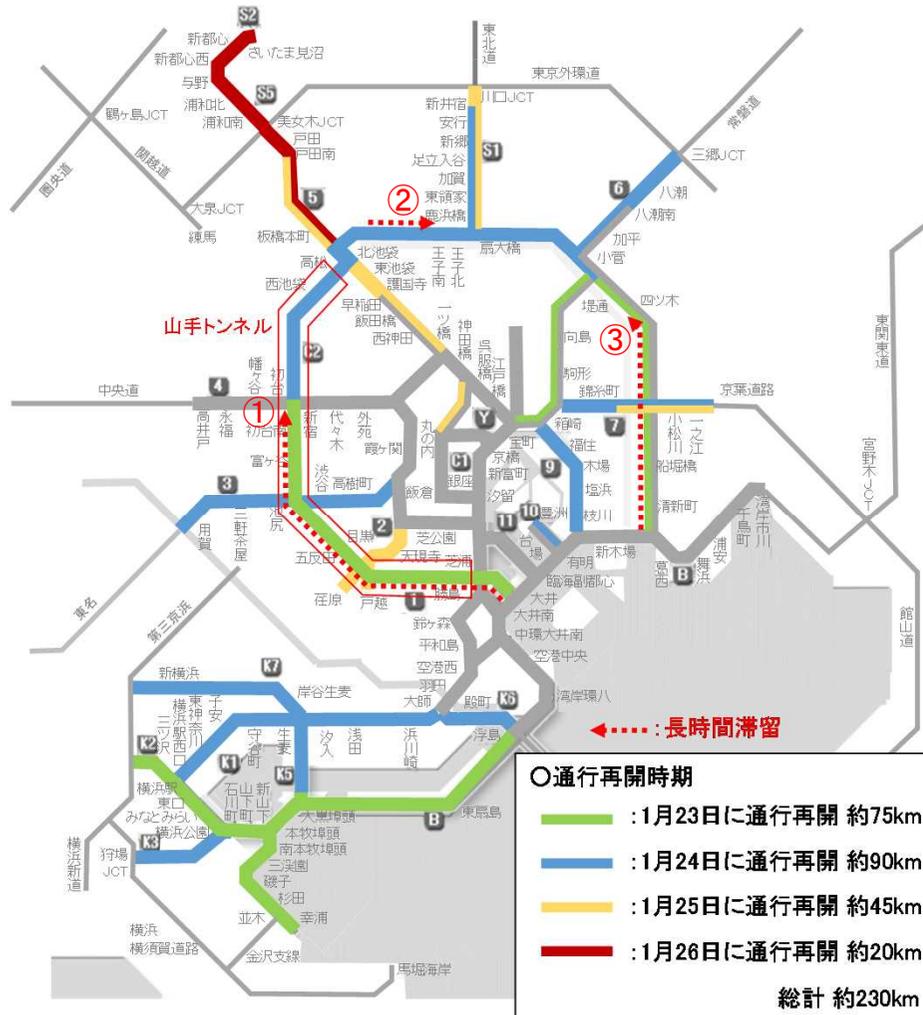


【最大積雪量】 27cm  
 【降雪時間】 2/8 7時~2/8 23時 (17時間) } 1.6cm / 時間  
 【最大時間降雪量】 5cm(2/8 19:00)  
 【降雪範囲】 首都高全域

## 2. 首都高速(通行止め・車両滞留状況)

- 首都高速道路では、1月22日14時より通行止めを開始、総延長320kmのうち約7割(約230km)が通行止めとなり、全面通行再開までに4日間を要した。
- また、中央環状線では3箇所で大規模な車両滞留が発生。

### ○ 首都高速道路の通行止め区間と通行再開時期



### 長時間車両滞留発生箇所

- ① 中央環状線(外回り) 西新宿JCT～大井JCT  
 【原因】トレーラの立ち往生  
 【最大長】約12km  
 【滞留時間】約10時間
- ② 中央環状線(外回り) 王子南出口付近～滝野川付近  
 【原因】大型車2台の立ち往生  
 【最大長】約1.6km  
 【滞留時間】約11.5時間
- ③ 中央環状線(内回り) 四ツ木出口～小松川付近  
 【原因】一般道への出口渋滞  
 【最大長】約10km  
 【滞留時間】約11時間



# 2. 首都高速(道路状況写真)

【凍結防止剤散布】



【除排雪】



【通行再開】



通行止め

復旧

### 3. 緊急的な対応(首都高速)

課題	首都高速の緊急的対応	全国の高速道路での対応
<p>①山手トンネル等での長時間の車両滞留</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・立ち往生車両の発見</li> <li>・トンネル内流入交通の通行止め</li> <li>・<u>滞留車両へ対応</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報提供</li> <li>・健康状態等の状況確認</li> <li>・避難誘導</li> <li>・飲食料等の配布</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○立ち往生車両の発生防止           <ul style="list-style-type: none"> <li>・立ち往生リスク箇所の把握</li> <li>・立ち往生リスク箇所のカメラ・監視員による監視</li> <li>・リスク箇所での早期通行止め</li> </ul> </li> <li>○滞留車両への情報提供等           <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS等による情報収集</li> <li>・HPやアプリ(mew-ti)、SNSによる情報提供</li> <li>・トンネル内の放送設備等による情報提供・避難誘導</li> <li>・飲食料等配布の初動迅速化</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○立ち往生リスク箇所の把握(調査中)</li> <li>○大規模立ち往生防止の早期通行止めの徹底</li> <li>○様々な手段を活用したドライバー等への情報提供及び滞留車両へのケアの徹底</li> <li>○SNS等を活用した情報収集</li> </ul>
<p>②4日間に及んだ通行止め</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・除排雪力不足</li> <li>・支援要請・受入体制</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○早期の通行再開           <ul style="list-style-type: none"> <li>・降雪情報に基づき除排雪体制の増強</li> <li>・除排雪支援について他機関への早期支援要請及び受入体制の確立</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○除排雪作業等の集中実施の徹底(災害対策法の適用含む)</li> <li>○関係機関等との連携体制の確認</li> </ul>



普段雪の降らない地域における大雪時の道路交通確保対策  
(有識者委員会で検討)

- ・予防的通行規制
- ・効率的除排雪手法等

- 【少雪地域での事例】
- H29.2 新東名高速道路 御殿場JCTでの大規模滞留
  - H29.1 名古屋高速全線 長期間通行止め
  - H28.1 西日本地域の高速道路 長期間通行止め
  - H26.12 国道192号 愛媛・徳島県境での大規模滞留(改正災害対策基本法の初適用)